

「教育の接続」としての 入試改革

～高校までの資質・能力の育成を
大学でどう評価するか～

日時 **12/7** (土)

2019年

10:00～17:30 (受付9:30～)

会場

キャンパスプラザ京都

参加費

京都府内の高等学校・大学関係者：**1,000円**
上記以外の方（京都府内企業関係者含む）：**2,000円**

※[レジュメ・資料集][報告集]を含みます。

今日、日本の社会が急激に変化する中、将来の担い手として必要な資質・能力を備え、自立し、社会に貢献できる人材育成のための教育改革が求められている。当高大連携教育フォーラムでは、過去2回にわたって「いま育成すべき力は何かをともに考えるー高等学校・大学の役割」のテーマを掲げ、「教育改革」を高校・大学が進めていく中で、「若者にどのような資質・能力を身につけさせるべきか」に取り組んだ。そして、いよいよ2021年1月に大学入学共通テストが実施される。

今回は、「高等学校教育」「大学教育」「大学入学者選抜」の一体的改革の一つである「大学入学者選抜改革」をテーマとして、大学入学共通テストの導入背景を踏まえつつ、共通テストの出題方針、客観的評価等について見識を深める機会としたい。加えて、主体性等の評価や調査書等の活用のあり方や方法についての課題を共有し、大学入学者選抜がどのように変わろうとしているのか、さらに、高校までに育んだ資質・能力を大学入試でどのように評価すべきかなど、高校から大学への「教育の接続」を意識した入試改革について共に考える機会としたい。

第1部 10:00～15:10 (昼休み 12:40～13:40)

定員 230名

開会挨拶 林 信康氏 (京都高大連携研究協議会運営委員長 / 京都女子中学校・高等学校校長)

趣旨説明 山本以和子氏 (大学コンソーシアム京都高大連携推進室長 / 京都工芸繊維大学工芸科学部准教授)

基調講演①

10:30～11:30

高大接続改革を捉え直す

～コンピテンシーの視点から～

講師 **白井 俊**氏 (独立行政法人大学入試センター試験・研究統括補佐官)

基調講演②

11:40～12:40

主体性等評価にどう向き合うか

～高校から大学への教育接続を意識して～

講師 **西郡 大**氏 (佐賀大学アドミッションセンター長・教授)

パネル ディスカッション

13:40～15:10

高校までの資質・能力の育成を大学でどう評価するか

パネリスト **白井 俊**氏・**西郡 大**氏

森口 安紀氏 (京都市立塔南高等学校教頭)・**大西 俊弘**氏 (龍谷大学理工学部教授)

コーディネーター **鮫島 輝美**氏 (京都光華女子大学健康科学部看護学科講師)

第2部 分科会 15:30～17:30 ※第2部の詳細は、裏面をご覧ください。

第1分科会【国語】/第2分科会【地歴・公民】/第3分科会【数学】
第4分科会【理科】/第5分科会【英語】

定員 各 30名

特別分科会①【アドミッション専門人材開発】

特別分科会②【高大連携キャリア教育】

定員 各 40名

情報交換会 17:45～18:45

参加費 2,000円

キャンパスプラザ京都 2F ホールにて開催いたします。
お時間の許す限りご参加ください。

定員 60名